

京都府立大学文化遺産叢書 第22集

あこのろの雲ヶ畑
—京都雲ヶ畑写真資料調査報告—

刊行にあたって

京都府立大学文学部歴史学科では、京都府下を中心に、地域の歴史や文化遺産に関する研究をおこない、その成果を文化遺産叢書として2008年度以来公刊してきた。その第22集となる本書は、京都市北区雲ヶ畑地区に関する科学研究費補助金「聖地・霊場の成立についての分野横断的比較研究」の成果をまとめたものである。京都市では、本叢書同第18集『京都東山・三嶋神社文書調査報告』（2019）、第19集『京都雲ヶ畑・波多野六之丞家文書調査報告』（2020）、第21集『京都山伏山町文書調査報告』（2021）の他、『京都地域情報・文化遺産データベースの展開・活用―「郡村誌」の地図化と二ノ瀬・岡崎を事例に―』（2014）、『上賀茂神社・上賀茂地区の地域史研究』（2015）につづく6冊目の調査研究の成果となる。

本書には、数年間にわたる共同研究のなかで実施した、雲ヶ畑地区の写真資料調査の成果、研究をまとめている。この調査では、写真資料所蔵者や雲ヶ畑地区の方々のご協力をいただいている。大学のみでは、調査範囲・方法が限られることも多く、このような地域との連携・協働が文化遺産の調査・活用では重要となる。

雲ヶ畑では、波多野六之丞家文書、旧雲ヶ畑村役場文書の調査を継続しており、今後一層、調査・研究・活用を進めていきたい。

京都府立大学文学部歴史学科

例 言

一、本書は、2020 年度に実施された、以下の研究成果の一部である。

「地域文化財を活用した山間地区コミュニティの維持方策」（京都府立大学地域貢献型特別研究）

（研究代表者）	上杉 和央	文学部准教授
（研究分担者）	東 昇	文学部准教授
	鈴木 暁子	京都地域未来創造センター上席研究員
	川瀬 貴也	文学部教授
（研究協力者）	中村 治	特任教授、修学院学区郷土史研究会会員
	和田 純一	左京区役所地域力推進室・企画担当（～2021年2月）
	奥田 晃美	左京区役所地域力推進室・企画担当（2021年3月～）
	村上 佳代	文化庁地域創生本部担当調査官

一、本書の編集は、東昇、中村治がおこなった。

一、本書の組版、デザインは長谷川巴南（京都府立大学文学部歴史学科3回生）がおこなった。

○調査協力者・機関（敬称略、五十音順）

伊藤恵子・岩井達男・雲ヶ畑校・雲ヶ畑自治振興会・（公財）世界人権問題研究センター
波多野眞・波多野元三郎・波多野善彦・松尾順子・安井昭夫